



2023年12月期第3四半期 決算補足説明資料

株式会社イトーキ（東証プライム:7972）

2023年11月13日

- 1. 第3四半期 連結業績**
- 2. セグメント別 業績**
- 3. 2023年12月期 連結業績予想**
- 4. TOPICS&NEWS**

1. 第3四半期 連結業績

2. セグメント別 業績

3. 2023年12月期 連結業績予想

4. TOPICS&NEWS

リニューアル案件やオフィス移転などを中心に売上高は好調に推移
増収効果および提供価値の向上による利益率の改善により大幅増益
連結営業利益通期業績予想75億円の達成に向け順調に推移

ワークプレイス事業

- ・ ハイブリッドな新しい働き方にあわせてリニューアル案件やオフィス移転などを中心に**売上高は好調**に推移
- ・ 増収効果および提供価値の向上による利益率の改善により、**大幅増益**

設備機器・パブリック事業

- ・ 博物館、美術館の展示ケースやデジタルサイネージ等の公共施設向け設備の需要などを中心に**売上高は堅調**に推移
- ・ 公共施設向け設備における提供価値の向上による利益率の改善により、**増益**

IT・シェアリング事業

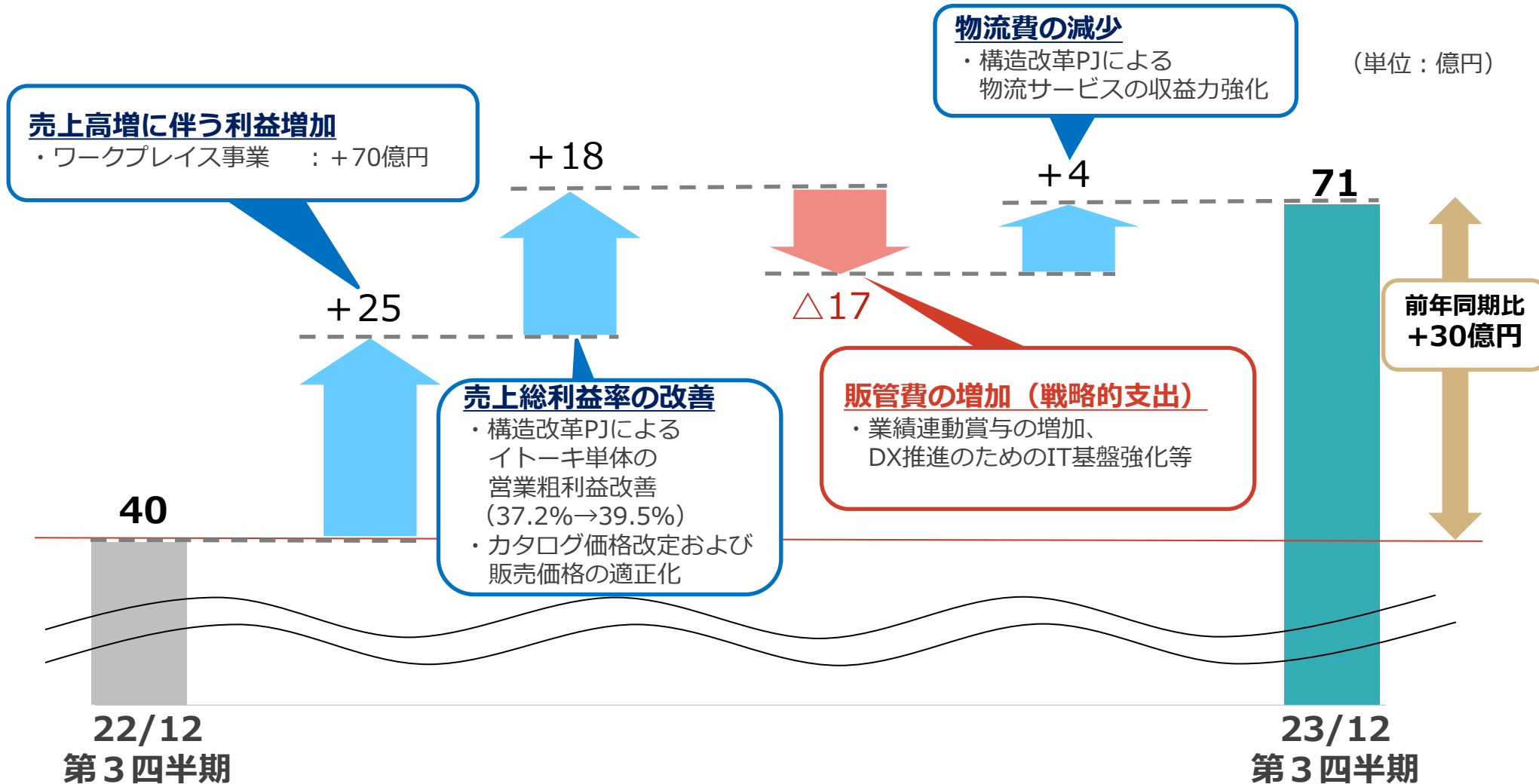
- ・ システム開発・検証事業やオフィスシェア事業が堅調に推移し、**増収**

第3四半期 連結業績

2023年1月1日～2023年9月30日

単位：億円	22/12 第3四半期		23/12 第3四半期		増減		通期修正予想 (8/7開示)	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増加率	金額	進捗率
売上高	899	—	968	—	+68	+7.7%	1,300	74.5%
売上原価	561	62.5%	586	60.6%	+24	+4.4%	—	—
売上総利益	337	37.5%	382	39.4%	+44	+13.1%	—	—
販管費	296	33.0%	310	32.0%	+13	+4.5%	—	—
営業利益	40	4.5%	71	7.4%	+30	+75.7%	75	95.7%
経常利益	41	4.6%	73	7.6%	+32	+78.4%	75	98.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	35	3.9%	49	5.1%	+13	+39.6%	48	102.3%

売上高増、構造改革プロジェクトの売上総利益率改善、物流費の減少により、戦略的支出の増加分を吸収し、大幅増益



着実な成果、結果が利益として結実。引き続き取り組みを進めていく

営業改革 に関する取り組み



高付加価値提案による収益力の向上



コンサルティングサービスの強化・拡大



配送体制の最適化



業績評価指標の浸透

生産・供給 に関する取り組み



新たなアSEMBル生産拠点であるAPセンターの稼働



新商品開発におけるサプライチェーンとの関係強化



原価低減に資する製造体制の構築

資産効率化 に関する取り組み



非事業用資産の売却等整理を含む資産の効率化および有効活用の推進



政策保有株式の縮減

1. 第3四半期 連結業績

2. セグメント別 業績

3. 2023年12月期 連結業績予想

4. TOPICS&NEWS

■ ワークプレイス事業

- ・ ハイブリッドな新しい働き方にあわせてリニューアル案件やオフィス移転などを中心に売上高は好調に推移
- ・ 増収効果および提供価値の向上による利益率の改善により、大幅増益

■ 設備機器・パブリック事業

- ・ 博物館、美術館の展示ケースやデジタルサイネージ等の公共施設向け設備の需要などを中心に売上高は堅調に推移
- ・ 公共施設向け設備における提供価値の向上による利益率の改善により、増益

2023年1月1日～2023年9月30日

単位：億円	22/12 第3四半期	23/12 第3四半期	増減		
			金額	増加率	
ワークプレイス	売上高	632	702	+70	+11.1%
	営業利益	24	53	+29	+119.3%
	〔営業利益率〕	〔3.9%〕	〔7.6%〕	—	〔+3.7pt〕
設備機器・パブリック	売上高	254	251	△2	△1.1%
	営業利益	12	14	+1	+11.8%
	〔営業利益率〕	〔4.9%〕	〔5.6%〕	—	〔+0.7pt〕
IT・シェアリング	売上高	12	13	+1	+8.9%
	営業利益	3	3	△0	△0.9%
	〔営業利益率〕	〔27.1%〕	〔24.6%〕	—	〔△2.5pt〕

1. 第3四半期 連結業績

2. セグメント別 業績

3. 2023年12月期 連結業績予想

4. TOPICS&NEWS

- ・ 2023年8月7日に通期業績予想を修正開示。当初予想営業利益65億円を、75億円へ上方修正
- ・ 下半期は、今後の成長戦略を見据えた人的資本投資（教育投資やオフィス環境整備等）の強化や、DX推進等の戦略的投資を見込むものの、上半期までの体質改善効果が継続することにより、前年以上の利益水準で推移を見込む

2023年1月1日～2023年12月31日

単位：億円	2022年12月期 実績	2023年12月期 年初予想	2023年12月期 修正予想 (8/7開示)	増減	
				前期比	年初予想比
売上高	1,233	1,300	1,300	+67 〔+5.4%〕	+0 〔+0.0%〕
営業利益	45	65	75	+30 〔+63.7%〕	+10 〔+15.4%〕
経常利益	41	65	75	+34 〔+79.5%〕	+10 〔+15.4%〕
親会社株主に帰属 する当期純利益	52	37	48	△4 〔△9.3%〕	+11 〔+29.7%〕
〔営業利益率〕	〔3.7%〕	〔5.0%〕	〔5.8%〕	+2.1pt	+0.8pt

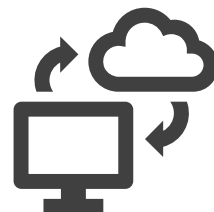
下期重点施策

人的資本への 更なる投資強化



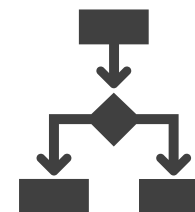
- オフィスリニューアル
- 人財拡充
- 教育投資
(DXトレーニング、選択型研修等)
- 従業員への処遇拡充
(業績連動賞与、人員拡充等体制強化等)

DX推進



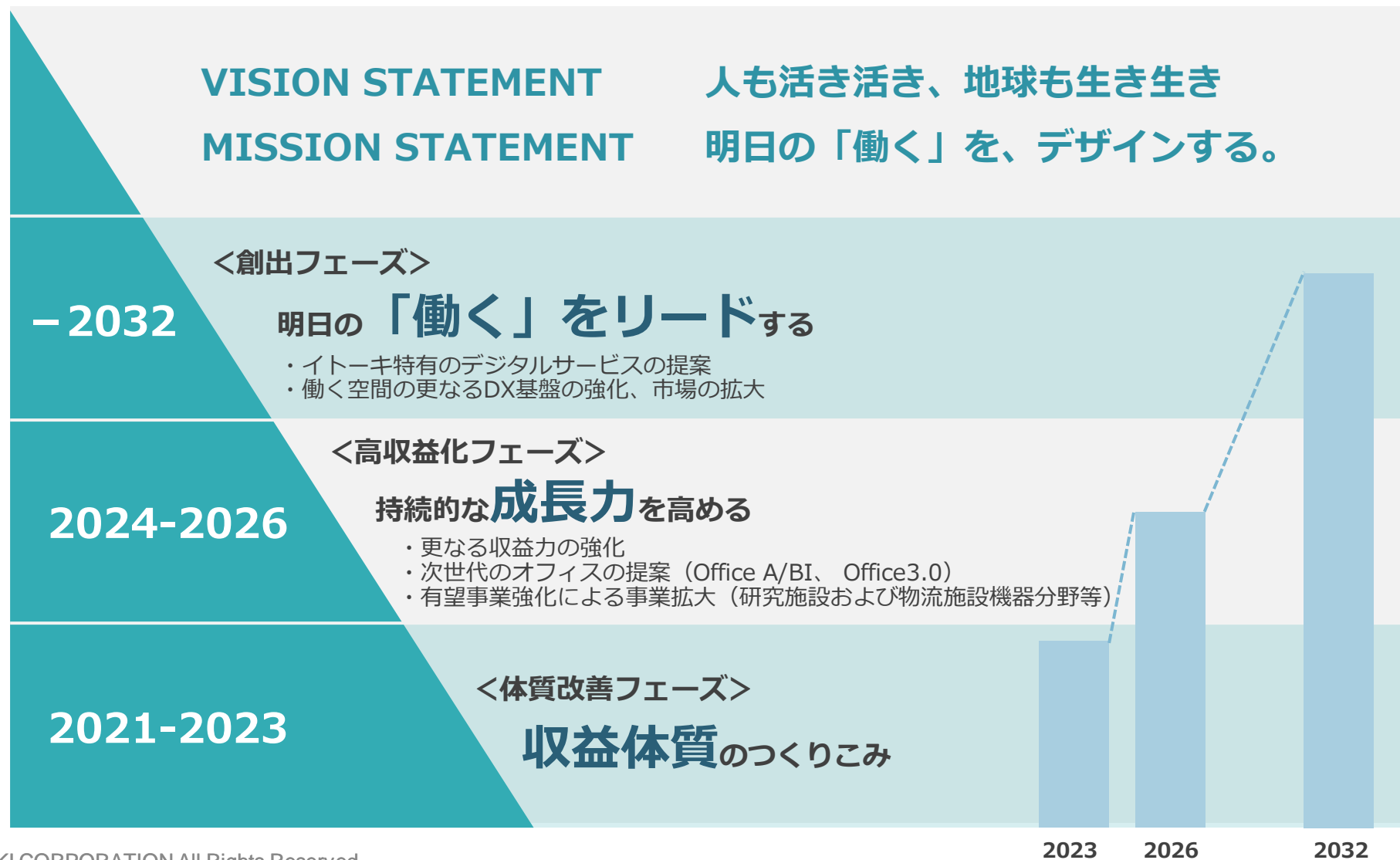
- 基幹システムのクラウド化
 - ・ ハードウェア老朽化対策
 - ・ 要件定義・システム設計
(2024年10月サービス開始予定)
- AI等へのシステム投資

資産効率化



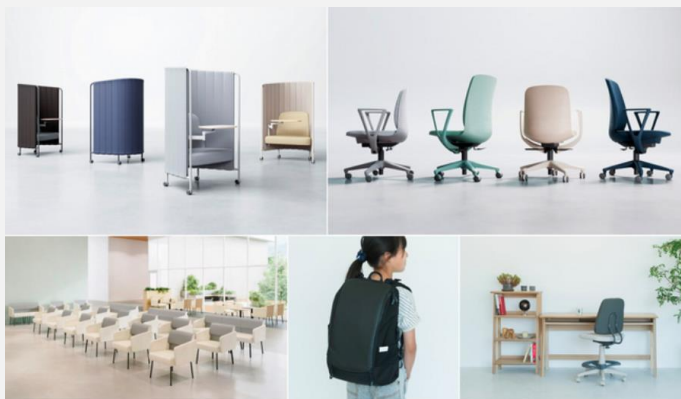
- 物流拠点の見直し
 - ・ 首都圏配送の配送効率を最大化
 - ・ より効率的な物流業務の実施
 - ・ BCPおよび環境対策

- ・ 新中計を2024年2月、本決算開示に併せ公表予定



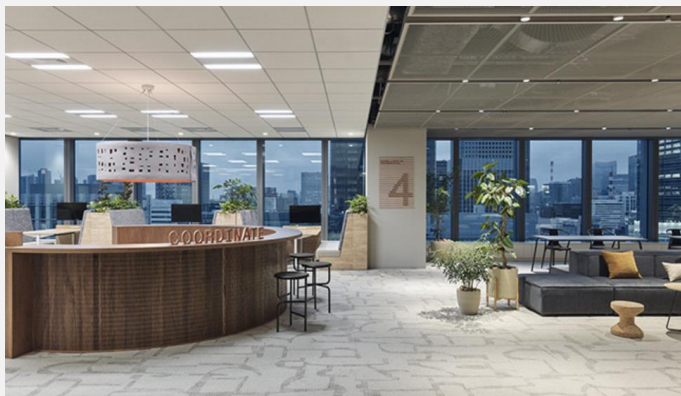
1. **第3四半期 連結業績**
2. **セグメント別 業績**
3. **2023年12月期 連結業績予想**
4. **TOPICS&NEWS**

10年連続！5製品で「2023年度グッドデザイン賞」を受賞



「inSAIL (インセイル)」「torteU (トルテUチェア)」「WaitingPS (ウェイティングPS)」「SELUCK (セルク)」「MINOTO (ミノト) デスク&ラック」5製品が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2023年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

「Shaw Contract Design Awards 2023」にて「Best of Asia」を受賞



東京本社「ITOKI TOKYO XORK」は、革新的で創造的な空間を表彰する国際的なデザインアワード「Shaw Contract Design Awards 2023」にて「Best of Asia」を受賞しました。



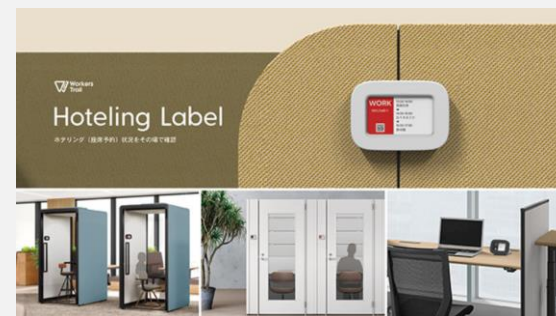
Feel So Wood

働く時間を心地よくする、木を活かして作る新たな製品群



Workers Trail Hoteling Label

働く場所の選択と利用を円滑化するワイヤレス&操作レスな予約状況表示ラベル



サリダPSデスク・ラック・ワゴン

デスク、ラック、ワゴンを自分好みにカスタマイズ。在宅ワークやホームオフィスにおける作業効率と快適性を高める省スペース設計



inova (イノーバ)

"学びのサイクル"に合わせて学生が自由に使えるグループワーク用家具、既存のオフィス向けシリーズ



Artivista (アルティビスタ)

空間も美術工芸品も美しく演出する新型展示ケース



中古家具の海外寄付で循環社会へ貢献



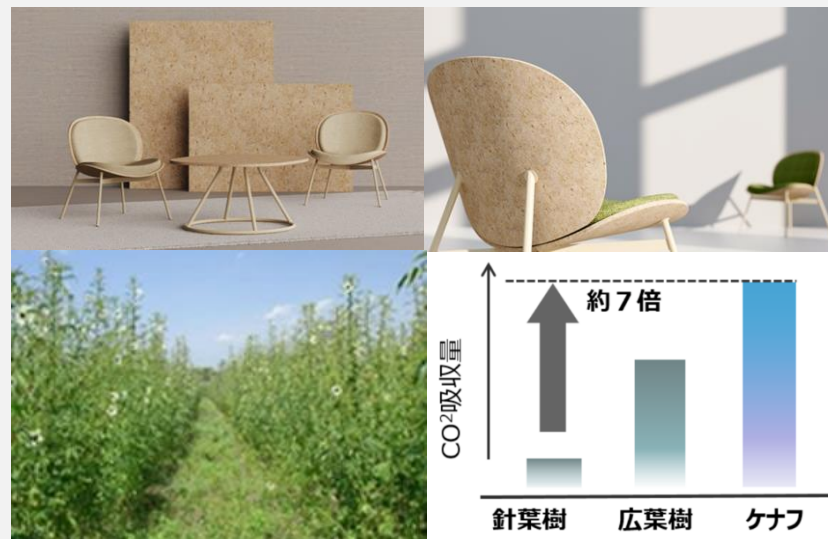
NX商事との協働スキーム「中古オフィス家具海外寄付」を通じて、事業開始から約2年間でコンテナ15基分に相当する2,200点以上の家具をカンボジアの官公庁や教育・医療施設等へ寄付しました。



▲現地での搬入・施工スタッフ育成・什器設置後の様子

サステナブルな植物「ケナフ」を活用した家具「ケナフラウンジチェア」を共同開発

イトーキのチェア設計・製造技術と、トヨタ紡織のケナフボードの加工技術を掛け合わせることで、環境にやさしく、より意匠性の高いチェアを共同開発しました。



ケナフは、成長時の二酸化炭素吸収能力が高く（針葉樹に比べると約7倍）、製造過程で発生するCO2排出量を削減することが可能です。

会社四季報 プロ500 2023年秋号（東洋経済新報社）にて、
本命銘柄50として当社が紹介されました。



※著作権の関係で掲載記事を転載することはできません。ご了承のほどお願い申し上げます。

＜注意事項＞

- 当社の連結決算は日本会計基準を採用しております。
- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

＜IRに関するお問い合わせ＞

株式会社イトーキ
広報IR部

電話:03-6910-3910
E-mail:itk-ir@itoki.jp
<https://www.itoki.jp/ir/>

明日の「働く」を、**デザインする。**